

サーバ添付ソフトウェア動作確認状況(Windows Server 2008 R2 HPC Edition SP1 & Hyper-V 2.0)

サーバ添付ソフトウェアのWindows Server 2008 R2 HPC Edition SP1での動作確認状況です。
Windows Server 2008 R2 HPC Edition SP1を適用した際の留意事項を記載しています。
また、サーバ本体、周辺機器も必ずご確認ください。

【凡例】

WS08R2HPC: Windows Server® 2008 R2 HPC Edition Service Pack 1 適用済み

- : 対象外 (xx) : 留意事項と項番

名称	Windows Server 2008 R2 HPC Edition SP1対応	提供形態	対応バージョン
ServerView Installation Manager	確認済 (S1)(S2)	媒体提供のみ	-
ServerView Console/ ServerView Operations Manager	確認済 (S5)	WEBからのダウンロード (http://www.fmworld.net/cgi-bin/drviasearch/drviaindex.cgi)	V5.10以降でサポート Hyper-Vのゲスト上では各ゲストOSに対応したバージョンでサポート
ServerView Agents	確認済 (S6)	WEBからのダウンロード (http://www.fmworld.net/cgi-bin/drviasearch/drviaindex.cgi)	V5.10以降でサポート Hyper-Vのゲスト上ではV5.00以降の各ゲストOSに対応したバージョンでサポート
ServerView RAID Manager	確認中	WEBからのダウンロード (http://www.fmworld.net/cgi-bin/drviasearch/drviaindex.cgi)	-
ServerView Update Manager CLI	確認済	WEBからのダウンロード (http://www.fmworld.net/cgi-bin/drviasearch/drviaindex.cgi)	V5.10.04以降でサポート
ServerView Update Agent	確認済	WEBからのダウンロード (http://www.fmworld.net/cgi-bin/drviasearch/drviaindex.cgi)	V5.10.02以降でサポート
ServerView Update Manager Express	-	-	-
ServerView PrimeUp	-	-	-
RAS支援サービス	確認済 (S3)	WEBからのダウンロード (http://www.fmworld.net/cgi-bin/drviasearch/drviaindex.cgi)	V5.1L13-02以降でサポート
HRM/server	確認済	WEBからのダウンロード (http://www.fmworld.net/cgi-bin/drviasearch/drviaindex.cgi)	V6.2.0以降でサポート
REMCSエージェント	確認済 (S4)	WEBからのダウンロード (http://www.fmworld.net/cgi-bin/drviasearch/drviaindex.cgi)	V3.2L12F以降でサポート
ソフトウェア サポート ガイド	確認中	-	-
DSNAP	確認中	-	-

サーバ添付ソフトウェアの留意事項

留意事項	対象機種	現象	対策
S1	ServerView Installation Manager Windows Server 2008 R2 SP1対象機種すべて	Windows Server 2008R2にSP1を適用するには時間がかかることがあります。	機種によっては数時間画面がフリーズした状態となりますが、特に操作は不要で自動的に終了します。
S2	ServerView Installation Manager Windows Server 2008 R2 SP1対象機種すべて	ServerView Installation ManagerでWindows Server 2008 R2にSP1適用する際、ディスクに十分な空き領域がないとインストールに失敗することがあります。	Windows Server 2008 R2にSP1を適用するには9GB以上のディスク空き領域が必要です。 ServerView Installation ManagerでWindows Server 2008 R2をセットアップ完了した後、OS区画を拡張し9GB以上の空き領域を確保してから手動でSP1の適用を行ってください。 理由： サーバの搭載メモリサイズが大きい場合、ページングファイル、ダンプファイルのサイズが大きくなるためSP1インストール時に空き領域が不足しSP1のインストールがキャンセルされます。 9GB以上の空き領域が確保されていればメモリサイズは意識しなくても構いません。
S3	RAS支援サービス Windows Server 2008 R2 SP1対象機種全て	RAS支援サービスが動作している環境にWindows Server 2008 R2 SP1を適用すると、SP1インストール中にRAS支援サービスのサービスプログラム(F5EP50)がクラッシュします。クラッシュしたとき、イベントログのシステムログに「F5EP50 サービスは予期せぬ原因により終了しました。」というログが出力されます。	SP1を適用してシステムを再起動した後、F5EP50サービスが正常に開始しているか、確認してください。開始状態になっていれば問題ありません。 SP1インストール中のクラッシュ現象を回避したい場合は、SP1インストール前に下記回避策のいずれかを実施しておくことで回避できます。 回避策(1) SP1インストール前に、マイクロソフト社が提供しているKBを適用します。 http://support.microsoft.com/kb/2487426 回避策(2) SP1インストール前に、F5EP50サービスを停止します。F5EP50サービス停止中は寿命監視等のRAS支援サービスの機能は一切動作しません。
S4	REMCSエージェント Windows Server 2008 R2 SP1対象機種全て	REMCSエージェントが動作している環境にWindows Server 2008 R2 SP1を適用すると、SP1インストール中にREMCSエージェントのサービスプログラム(下記)がクラッシュします。クラッシュしたとき、イベントログのシステムログに「xxx サービスは予期せぬ原因により終了しました。」というログが出力されます。 [REMCSエージェントのサービスプログラム] F5EP00RMSservice F5FBTL01 Fujitsu RRMS Service REMCS RmAosfB	SP1を適用してシステムを再起動した後、REMCSエージェントのサービスプログラムが正常に開始しているか、確認してください。開始状態になっていれば問題ありません。 SP1インストール中のクラッシュ現象を回避したい場合は、SP1インストール前に下記回避策のいずれかを実施しておくことで回避できます。 回避策(1) SP1インストール前に、マイクロソフト社が提供しているKBを適用します。 http://support.microsoft.com/kb/2487426 回避策(2) SP1インストール前に、REMCSエージェントのサービスプログラムを停止します。サービスプログラム停止中はリモート通報等のREMCSエージェントの機能は一切動作しません。
S5	ServerView Operations Manager Windows Server 2008 R2 SP1対象機種全て	インストールの途中で、以下のメッセージが表示される場合があります。この場合、インストールは中断され、ServerView Operations Managerはインストールされません。 -----エラーメッセージ----- 致命的なエラーが発生したため、インストールを中断しました。 -----	開いているファイルやフォルダを一旦閉じた後、再度ServerView Operations Managerのインストールを行ってください。
S6	ServerView Agents Windows Server 2008 R2 SP1対象機種全て	CPUのスレッド数が32以上ある環境で、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2およびWindows Server 2008 R2 SP1のHyper-V機能をインストールしていた場合、8分に1回の間隔で、以下のログがイベントログに記録されます。 ソース: PerfNet イベント ID: 2005 レベル: エラー メッセージ: サーバー サービスのパフォーマンス データを読み取れません。データ セクションの最初の 4 バイト (DWORD) には状態コードが含まれ、2 番目の 4 バイトには IOSB Status が含まれ、3 番目の 4 バイトには IOSB Information が含まれています。 この現象が発生した場合でも、ServerViewによる監視機能、及びサーバの動作には影響はありません。	以下の手順で、ServerView Agentsの機能の1つである、“Virtualization Management Agent”をアンインストールします。ただしこの手順を実施した場合、ServerView Operations Managerから、該当装置のしきい値監視を行うことができなくなります。 1. 「プログラムの追加と削除」から “Fujitsu ServerView Agents” を選択して[変更]ボタンをクリックする。 2. 「Setup Wizard」が起動される。 3. 「Program Maintenance」画面から “Modify” を選択して[Next]をクリックする。 4. 「Custom Setup」画面から “Virtualization Management Agent” の左横のアイコンをクリックして “This feature will not be available” を選択する。 アイコンが「×」になったことを確認。 5. [Next][Next][Install]と順にクリックして、インストールを開始する。